



## 地域コミュニティを守る

### 老人クラブ

#### 山口県下松市老人クラブ連合会

● クラブ数 51クラブ

● 会員数 1734名 (男性693名、女性1041名)

下松市は、山口県の瀬戸内海沿岸のほぼ中央に位置し、気候温暖・風光明媚な地方小都市で、「星ふるまち」とも呼ばれています。人口は約5万6千人で、高齢化率は27.7%となっています。市老連の会員数は平成19年から毎年減少していましたが、昨年度よりこの会員増強運動が始まり、今回減少に歯止めが掛かりました。

### 地域文化伝承館に出展して PR

下松市花岡友愛クラブでは、毎年の年末行事として一年の無事健康に感謝して、花岡八



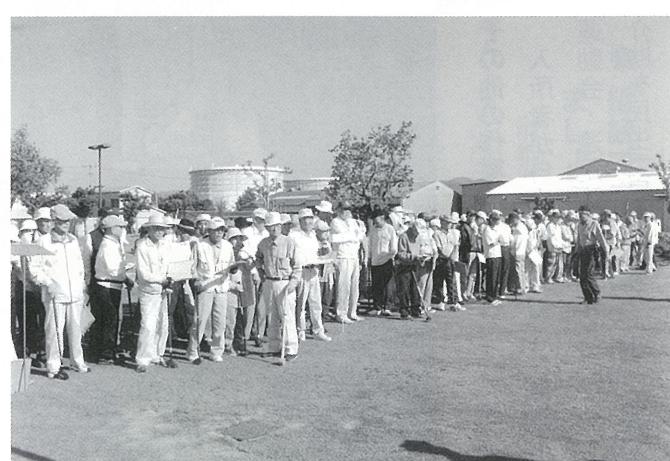
地域文化伝承館にて 花岡友愛クラブ

幡に奉納する大しめ縄を作っています。10月に開催された「ねんりんピックおいでませ！」

山口2015」地域文化伝承館ブースでは、しめ縄づくりの作業風景を紹介し、来館者と一緒にそれを体験してもらいました。体験コー

ナーでは、来館者に縄の編み方を教えて、出来上がった輪飾りを記念に持ち帰つてもらい、大変喜ばれました。下松市老人クラブとして、この催しは大変良いPRになりました。

### グラウンド・ゴルフによる会員増強



毎年恒例のグラウンド・ゴルフ大会

近年特に高齢者の人気のスポーツとなつたグラウンド・ゴルフでは会員・非会員の親睦の場としてオープンに参加を募り、毎年約200人の参加があります。また、下松グラウンド・ゴルフ協会との協働で行っており、こ

### 地域のための老人クラブを新設

の大会に参加するために毎年新規の会員も入会されます。今後も開催回数を増やして、さらにはラージ卓球大会の開催も検討しています。会員増強を視野に、高齢者の活躍できるいろいろなバリエーションを増やしていきたいと思っています。

クラブの発起人会を立ち上げて、自治会と連携して8年前に閉じた老人クラブを2クラブにして復活させ、一度に77人の会員が誕生しました。老人パワーで地域の活性化を図ると、人と人との心の結びつきを大切にする「絆の会」2クラブ（さくら組、つつじ組）が、江の浦老人集会所を活動拠点にして誕生したのです。笠戸島を範囲とする笠戸地区老連では、島内3地区に老人クラブがそろい、4クラブになりました。

少子高齢化が進み、架橋により便利になりました笠戸島では昨年3月に小学校が3校廃校となり、島に小学校がなくなりました。そのため学校を中心としたコミュニティ活動ができるなくなり、島の中心にある江の浦地区では非常に危機感を抱いておりました。そこで老人（自治会）へ老人クラブの新設を行つていけば、下松市全体の高齢者の活性化にも期待できると思います。

（会長 熊谷幸二）

ラブの課題やクラブの立ち上げについて話し合いました。この交流会では、下松市長にも御臨席いただき、忌憚のない前向きな意見交換会となりました。

会員増強は、以前から老人クラブ全体の課題となつており、いまや一クラブ内だけで解決にはならないのが現状だと思います。課題についても地域性はあるかもしれません、好事業や良い方法等は共有して、できる限り現場に近いところで前述のような話し合いの場をつくることも大切だと思つております。

今回の会員増強事例で、山口市老連小郡支部より交流会の依頼を受け、総勢40人で、ク

各会長、副会長2人、理事4人

### 会員増強について 他地域との交流



山口市老連小郡支部との交流会

今回の会員増強事例で、山口市老連小郡支部より交流会の依頼を受け、総勢40人で、ク